

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台国際センター及びせんだい青葉山交流広場・駐車場
2	指定管理者	青葉山コンソーシアム (構成企業：株式会社東北共立，日本コンベンションサービス株式会社，野村不動産パートナーズ株式会社，石井ビル管理株式会社，小田原電機工業株式会社)
3	指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
4	施設の利用状況	《国際センターの利用者数（交流広場との合同利用を含む）》 平成30年度：325,525人（前年度比 約91%） 平成29年度：356,946人，平成28年度：254,091人，平成27年度：293,278人
		《交流広場のイベント利用者数（国際センターとの合同利用は含まない）》 平成30年度：155,500人（前年度比 約135%） 平成29年度：115,450人，平成28年度：82,700人，平成27年度：57,330人
5	収支の状況	《事業》 ・ 仙台国際センター及びせんだい青葉山交流広場の適切な運営管理 ・ 本市の交流人口拡大に向けた国際会議や学会等の誘致
		《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 0千円 ( 0千円)  《収入》 ・ 使用料収入 588,400千円 (578,234千円) ・ その他収入 81,779千円 (70,868千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート，おもてなし懇談会等を実施

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	施設の設置目的に沿った適切な運営を行っており，施設目的も十分に達成されている。	21/21
II	施設の運営管理体制	全てにおいて基準を満たしており，セキュリティ対策，事故防止策，災害時対応等にも適切に対応している。安全かつ円滑な施設の運営管理体制を構築している。	30/30
III	施設・設備の維持管理	全てにおいて基準を満たしている。特に仙台国際センターの会議棟は建設から25年以上経つ古い建物であるため，経年劣化への対応が求められる施設である。指定管理者は各設備の状況をよく把握し，適切な管理を行っている。	24/24
IV	サービスの質の向上	全てにおいて基準を満たしている。青葉山コンソーシアムは複数の企業で構成される団体であるが，職員間の情報共有や役割分担も適切に行われており，それぞれの専門性を活かした管理運営が行われている。また，運営全般を網羅した運営ガイドラインを整備し，サービス水準の確保が図られるような体制が構築されている。	28/28
V	施設固有の基準	民間企業のノウハウを活かした施設運営が行われ，稼働率目標等で全項目達成とは至らなかったものの，事業収支は4年連続で増収増益を達成。仙台市にも過去最多となる約5,020万円を納付しており，仙台市の収入増に貢献している。 また，指定管理者の自主財源で大型商談会を開催し，地元企業に対するビジネスチャンスを創出するなど，全国的に見ても先進的な取り組みを多数実施し，交流人口の拡大や地域経済の活性化にも大きく貢献している。	9/9

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

### 四 評価総括

《指定管理者（青葉山コンソーシアム）による自己評価》
<p>私ども青葉山コンソーシアムは、民間企業5社による共同企業体であり、仙台国際センター及びせんだい青葉山交流広場・駐車場の指定管理者として、加盟5社の特色を活かした独立採算の施設管理運営を行っております。</p> <p>平成30年度は、国際会議18件、国内会議43件、その他531件、計592件の多彩な催事が開催されました。5月10日(木)～13日(日)には「第70回日本産科婦人科学会学術講演会」(約8,000名規模)、11月22日(木)～24日(土)には「第34回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会」(約3,000名規模)など大型の催事が開催されました。自主事業では9月17日(月祝)に「仙台国際センター秋祭り せんだい育ち」を公益財団法人仙台観光国際協会主催「地球フェスタ」と共催で実施し、市民への理解促進や青葉山エリアの賑わい創出に貢献いたしました。平成31年2月6日(水)には「SENDAI Communication Fair in仙台国際センター」を開催。多くの出展者と関係者のマッチングを図り、地元企業にビジネスチャンスを生むことに成功いたしました。</p> <p>また、本年も7月25日(水)に「SENDAIおもてなし懇談会」、平成31年3月25日(月)には「青葉山・川内コンベンションエリア連携会議」を開催し、近隣施設との連携と交流人口活性化等について意見を交わしながら、効果的な取り組みの検討を行いました。年間を通して「東北の伝統工芸品」をビジネスセンターにて展開しながら、会議棟1階ロビーでは宮城の地酒を展示し、仙台国際センターを訪れたお客様の市内中心部への回遊を促進しました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成27年度から利用料金制(施設利用料を指定管理者の直接の収入とし、その収入から施設所有者である市に納付金を納入する制度)による指定管理制度を導入し、公募によって選定された青葉山コンソーシアムが「仙台国際センター及びせんだい青葉山交流広場・駐車場」の指定管理者として施設の管理運営を行っている。</p> <p>本年度は、全体収益が過去最高を記録し、仙台市に約5,020万円もの納付金を納めるなど、安定的かつ優秀な施設運営が行われている。</p> <p>施設の管理面も全体を通して良好で、施設の特性に応じた管理が行われており、過度な利益追求で施設管理や人材育成等を疎かにするといった状況も見られず、総じてバランスの取れた運営がなされている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局観光交流部誘客戦略推進課